

【ポエム】



(手話解説)

横笛を奏でるしぐさ。「ポエム」の広告に
ちなむ。(広告参照)

{ポエム}

フランス帰りの画家が、ポエム(詩)の
味と評したのを菓子の名にしたもの。



【し ょ う 油 餅】

(手話解説)

左手にのせた「しょう油餅」を右手
人差し指で押し型をつける。

{しょう油餅}

松山藩祖松平定勝が3月の桃の節句
に作らせたのが始まり。現代でも花見の
時に食べる習慣が残っている。5色の
ほんのりやさしい味が特徴。



【薄墨 ようかん】

①



②



③

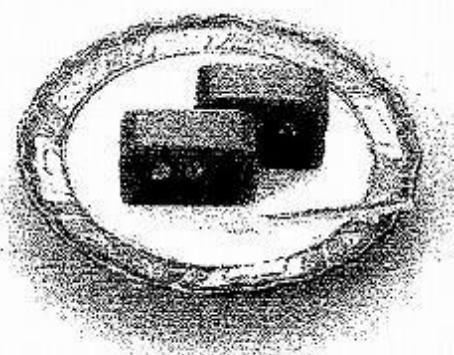


(手話解説)

- ①②「桜」の手話。両手掌を双方でたたく。
- ③ 左手にのせた「ようかん」を右手で切るしぐさ。

[薄墨ようかん]

松山市下伊台町の西法寺に薄墨桜という名木があるが、この桜の色と花の香りをいかした羊羹。



【みかん】

(手話解説)

「みかん」の皮をむくしぐさ。

{みかん}

みかんの生産量は全国一。

愛媛の県花は「みかん」である。

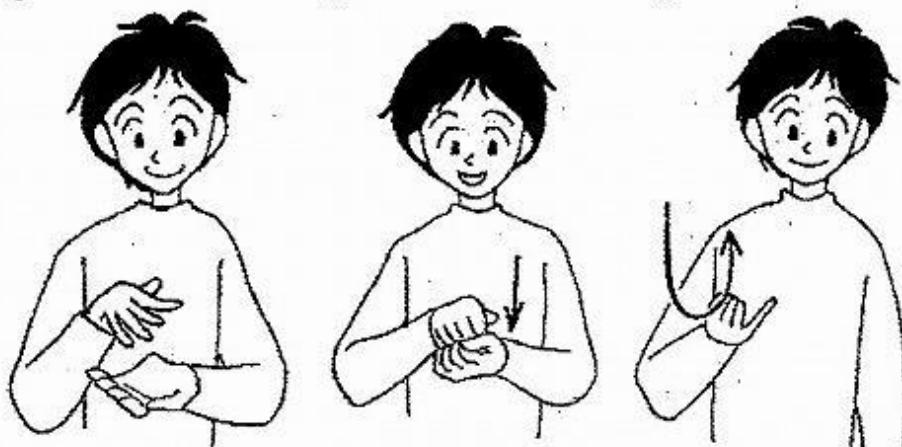


【ポンジュース】

①

②

③



(手話解説)

①手の間に挟んだ「みかん」を、

②おしつぶす。

③立てた小指でJを書く…「ジュース」の手話

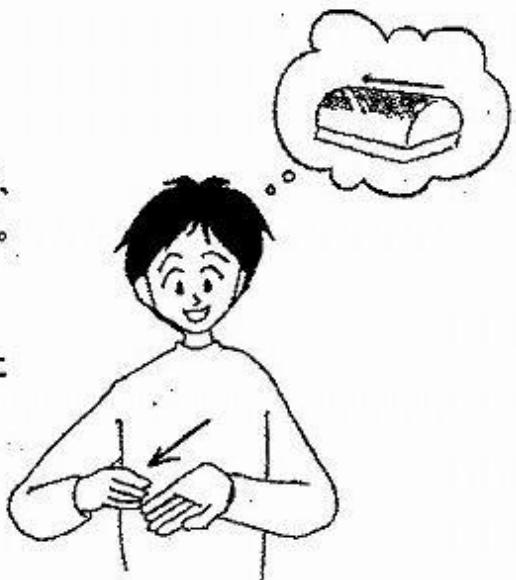
{ポンジュース}

昭和 27 年発売で、みかんジュースの草分け的存在。ビタミン C、A、D、E の他、ミネラルも豊富で健康飲料としても評価が高い。

【かまぼこ】

(手話解説)

左手の手の平で、かまぼこ板を作り、丸めた右手を手首から指先に動かす。



[かまぼこ]

愛媛のかまぼこは、瀬戸内海の幸に恵まれ、南予を中心高級かまぼことして称賛される。生産高は全国で中位。

【五色そうめん】

①

②

③



(手話解説)

①5つ ②色

③そうめん…右手で箸を使って「そうめん」を食べるしぐさ。

[五色そうめん]

天然素材によって、紅・黄・緑・茶・白の5色に色付けされた5色そうめんは、「唐糸のように美しい」と称賛されている。360年の歴史を持つ。

【お遍路さん】

(手話解説)

右手で杖に付いている鈴を鳴らし、
左手で托鉢を持つ。



{お遍路さん}

「ひとり歩き同行二人」
ひとり歩き同行二人
空海との二人旅が基本。金剛杖は
「弘法大師」の化身といわれる。

【野球拳】

①



②



(手話解説)

①野球 ②じゃんけん

{野球拳}

大正 13 年、前田伍健が宴席で即興に作詞振付けされて生まれたのが始まり。
今では「松山まつり」をはじめ各種のイベントで取り入れられ、愛媛を代表する
踊りとなっている。

【伊予万歳】

①



②



(手話解説)

- ①にぎりこぶしを合わせてひねり、扇子を広げるしぐさ。
- ②「松」の枝ぶりを表わす。

【伊予万歳】

初代松山藩主松平定行に招かれた万歳太夫が、正月行事として祝いを行つたのが起源。明治以降中予を中心に、祭礼・祝いの席の余興として行われる伝統芸能。



【石底 音部 焼】

(手話解説)

大きな器を表わす。



【磁部焼】

多くは白磁に吳須の絵付けによる青い色をしている。古くから庶民の生活の中に溶け込んでいるのが特色。国の伝統的工芸品。

砥部焼伝統産業会館 入館 200 円
TEL 962-6600

【竹 工 藝】

①



②



③



(手話解説)

①②竹…手の平に描えた指先を当て「竹の節」を示し、交互に繰り返すことによって「竹」となる。

③両指を組み合わせ、竹を編み上げている様子を表わす。

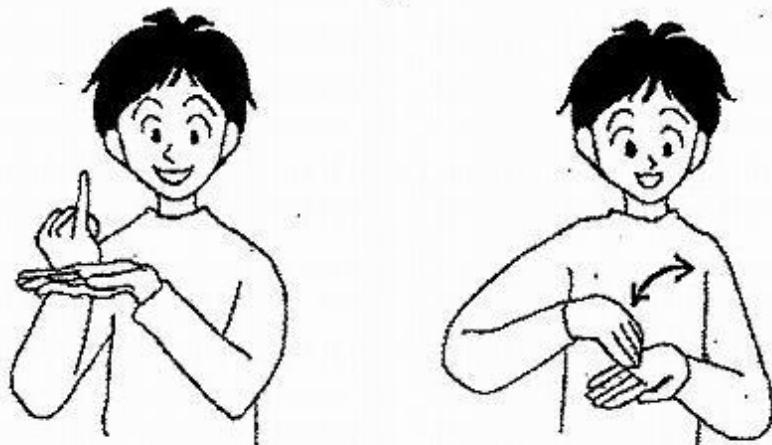
【竹工芸】

聖徳太子が道後温泉にご来遊のおり、編組の方法を教えたのが始まりと言われる。機能美と芸術性が愛され、生活用具や茶道具として幅広く発展してきた。

【姫だるま】

①

②



(手話解説)

- ①姫…掌を上にした左手にそえ、高貴さを示す。
- ②だるま…左手掌を上に、指先を合わせた右手をのせ軽くゆらし、だるまがゆれている様子を示す。

【姫だるま】

じんぐうこうこう
神功皇后(4世紀?)は、朝鮮征伐の途中道後温泉に留まられたが、その時皇后の胎には応神天皇がおられた。その後福岡県で帝を生まれたが、その御幼児を追憶して作られたものとされる。もちろん「椿の会」のシンボルマークです。



椿の会会報特別号

初 版	1996年4月22日(月)
再 版	2006年4月
発 行	松山手話サークル椿の会